

## 神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院の取組について（神奈川県立こども医療センター）

項目	取組内容	令和2年度事業計画	(参考) 令和元年度事業実施状況、実績見込等
1 診療	医療機関相互の連携及び診療連携体制の構築	アレルギーセンター長が地域の医療機関訪問を直接訪問し、アレルギー診療内容、患者数、対応などについてヒアリングを行い、一般診療における課題について調査する。 さらに、地域連携についてシステム構築（外部施設によるカルテ閲覧システム）の説明を行い、普及啓発に努める。 目標訪問数：50 施設 アレルギー疾患の対応方法について、「こども医療センター 夏季セミナー」「神奈川県立こども医療センター地域医療支援事業研修会」を地域医療機関に対して開催する。	センター長による施設訪問数は、12 施設だった。 「こども医療センター 夏季セミナー」を9月に開催した。 3月開催予定であった「神奈川県立こども医療センター地域医療支援事業研修会」は中止となった。
2 情報提供	患者及び家族・地域住民に向けた適切な情報の提供	神奈川県立こども医療センター主催の県民向けの講演会を主催する（こどもの健康セミナー 2020/5/23 開催予定） ホームページについては、厚生労働省の「アレルギーポータル」へのリンクを作成し、より正確な知識普及に努める。	病院ホームページを改定し、紹介受診してからの患者が受ける治療について流れについて解説する説明を付記した。
3 人材育成	医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等	2020 年度の医師、またはエドューケーターによる保健師、栄養士、教職員等に対する研修は10件を目標としている。	2019 年度の研修件数は7件だったが、1件はコロナ対策で中止となっている。派遣スタッフは医師のみ3件、エドューケーターのみ1件、医師+エドューケーター2件だった。
4 研究調査	県内のアレルギー疾患の実情を把握するための調査	今後、山梨県でのモデル事業例を参考に、保健所においてアレルギーがどのように乳幼児・その保護者の生活を障害している状況を把握する予定である。	実績なし
5 助言	学校、児童福祉施設等が抱える問題への医学的見地からの助言や支援	一部自治体だけではなく、全体を管轄する県の教育委員会を通じて、統一した食物アレルギーの対応を図ることを検討し、センター内で素案を作成中である。	食物アレルギーの指導内容が他の市町村と異なって患者が混乱している自治体の教育委員会にアレルギーセンターとして連絡を行い、対応の是正を依頼した。
6	その他 （上記以外について）		

## 神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院の取組について（横浜市立みなと赤十字病院）

項目	取組内容	令和2年度事業計画	(参考) 令和元年度事業実施状況、実績見込等
1 診療	医療機関相互の連携及び診療連携体制の構築	<p>病診連携医療機関と連携シートを用いた気管支喘息の病診連携を実施しています。発作を繰り返す喘息患者を紹介いただき、完全コントロールを達成した後は逆紹介し、半年～1年に1回は当院アレルギー科を予約受診していただきます。その都度、呼吸機能検査等を実施することによりコントロールの維持を確認しています。</p> <p>連携先の医療機関は、横浜市内のほか県内全域での連携を進めます。</p>	随時実施。
2 情報提供	患者及び家族・地域住民に向けた適切な情報の提供	<p>患者やその家族、地域住民に対する情報の提供は病院ホームページで行っています。</p> <p>アレルギーセンターホームページにおいて、当センターにおける診療内容、診療実績、各種講演会の情報提供を行っており、各診療科のアレルギー疾患を1つのページで網羅することで患者様に見やすいホームページを心がけていますが、情報面の充実等の改修を行い、更なる情報提供の充実を図ります。</p>	随時実施。 ホームページ改修は今年度未実施であり、令和2年度実施予定。
3 人材育成	医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等	<p>医療従事者向けの研修会としては、みなとセミナー、横浜みなと免疫・アレルギー講演会、横浜市アレルギー懇話会、横浜環境アレルギー研究会、横浜吸入指導勉強会を実施しています。</p> <p>教職員・児童福祉施設職員を対象としては、横浜市内を中心として各機関からの依頼に基づき研修会を実施しています。</p> <p>横浜市内を中心として上記事業を行っていますが、県内全域を対象に事業を展開します（県民向け公開講座、研修会等）。</p> <p>令和2年度からは他の県拠点病院と連携して小児アレルギーケアに関する協議会を定期的に開催し、高度なアレルギーの専門知識と指導技術を持ったメディカルスタッフを育てるために地域での研修等をより計画的に行っていく予定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとセミナー：1回</li> <li>・横浜みなと免疫・アレルギー講演会：1回</li> <li>・横浜市アレルギー懇話会：なし</li> <li>・横浜環境アレルギー研究会：なし</li> <li>・横浜吸入指導勉強会：なし</li> <li>・出張研修会：62回 (受講者数計2,307名)</li> <li>・横浜市小児アレルギー診療連絡協議会：1回</li> </ul>

項目	取組内容	令和2年度事業計画	(参考) 令和元年度事業実施状況、実績見込等
4 研究 調査	県内のアレルギー疾患の実情を把握するための調査	令和2年度からは、専門機関による診療データによるデータベース等を駆使して各種アレルギー疾患の診療状況を細やかに把握し、実態調査に取り組んでいきます。	未実施。
5 助言	学校、児童福祉施設等が抱える問題への医学的見地からの助言や支援	「3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等」参照。	
6	上記以外の事業について	<p>携帯電話、スマートフォンなどのIT通信機器を用いた気管支喘息の長期管理として、患者が自宅や職場で測定した呼吸機能をIT通信機器により当院にデータ送信し、悪化時に医師から患者に個別にアドバイスを送る喘息遠隔医療のシステム（Asthma Real-time Monitoring System:ARMS）を導入しています。</p> <p>また、過去の気象と喘息症状の関連から導き出した予測式を基に「喘息予報」の提供を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ARMS 登録患者数：85 名</li> <li>・ コメントでのアドバイス件数：13 件</li> </ul>
7	その他	<p>来院による相談として、小児喘息相談、成人喘息相談（計年間3回ずつ）を実施しています。</p> <p>また、小児アレルギーエデュケーターを取得した看護師・保健師・薬剤師・管理栄養士が在籍し、随時相談に応じています。</p>	